

# 白梅会報

発行所 宮城県古川黎明中学校・高等学校同窓会 白梅会  
〒989-6175 大崎市古川諏訪一丁目4番26号 電話 (0229) 22-3148

## 校歌

作詞 土井 晩翠  
作曲 陸軍戸山学校  
軍楽隊

一、荒雄川 また鳴瀬川  
流れ合ふ 大崎平野  
水絶えぬ 郷に匂へる  
なつかしのわれらの母校

二、「一念の誠」のしるべ  
朝夕のたゆまぬ励  
かがやける 望みにみち  
わがみがき 心きたへよ



同窓会会長  
千葉 典子

ごあいさつ

今年夏は夏に向かつて季節が少し早く巡って  
るようです。諏訪公園はあやめの盛りでしょう  
か。高校時代、生物の授業で公園に出かけ、あ  
やめ・花菖蒲・杜若の違いを勉強しました。今、  
記憶に残っているのは、公園の爽やかな五月の  
空気と、花をかざして話されている小沢先生の  
お姿だけですが、数少ない高校時代の記憶の一  
コマです。

同窓生の皆様、お元気で過ごして下さるか。  
日頃より同窓会の活動にご理解とご支援をお寄  
せいただき、心より感謝申し上げます。

同窓会はこの三月で総勢二万九千四百名を超  
えました。卒業式に臨席させていただき、母校  
の大きな流れが着実に健やかな若木を育て、更  
に大きな世界に根付かせていることに感動を覚  
えました。同窓会活動も、この若木が大きく枝  
葉を伸ばすための支えの一端になればと願っ  
ております。

昨年は関東支部をはじめ、七支部で総会が持  
たれました。田尻支部は古川・パレット大崎に  
場を移し、総会後母校クラス部定期演奏会を  
応援する企画で盛り上がりました。高清水支部  
は母校会議室での総会で、校舎見学もあり、楽  
しい集いとなりました。どの支部総会も、母校  
に思いを馳せるひとときを共有しながら、熱い  
心で母校の大きな伝統の流れを推し進めていく  
力になっていくと確信しております。

八月の本部総会には百四十名の皆様のご参加  
をいただきました。パリ舞踏も交えながら恩師  
先生・先輩後輩と旧交を温めたひとときでした。  
毎年に参加される方々が増え、喜ばしい限りで  
す。ご参加いただくことが何よりの大きな力と  
なります。ご参加をお待ち致しております。

五年後に母校は創立百周年を迎えます。名簿  
発刊をはじめとして、百周年に向けての活動が  
具体化しようとしております。同窓生の皆様が  
一層のお力添えをよろしくお願い申し上げます。  
最後に、母校と同窓会白梅の益々の発展と、  
皆様のご健康をお祈りしてご挨拶と致します。

## 黎明〜開校百周年に向けて



宮城県古川黎明中学校・高等学校  
校長 庄子 英利

本校同窓会白梅会の皆様にお  
かれましては、日頃より本校の  
教育活動に対し、ご協力とご支  
援を賜り深く感謝申し上げます。

今年、本校は大正九年の「旧  
古川高等女学校」開校から九十  
五周年を数え、中高一貫教育校  
「古川黎明」として十周年となり  
ました。五年後にはいよいよ百  
周年を迎えます。校内では記念  
事業等に関する準備を始めたこ  
ころであります。今後、同窓会、  
PTA、教育振興会、そして学

## 思い出すことなど



恩師 西山健臣 先生

平成六年から十一年まで、六年  
間お世話になりました。

私が教員を志した理由の一つ  
は、ハンドボールを教えたかったか  
らです。初任校の気仙沼高校には  
残念ながらハンド部がありません  
でした。古女の転勤が決まりまし  
て二人でアパートの下見に来た時  
に、グラウンドの脇の道路に車を止  
めて、一時間くらい、ハンドボール  
部の練習を眺めました。妻が「四  
月から来る新しい顧問がここで見

校による実行委員会を立ち上げ  
て参りたいと考えております。

さて、本校では、毎年生徒に  
キャッチフレーズを公募してお  
ります。今年度は「黎明で咲か  
そう！希望という名の太陽の花」  
と決まりました。生徒たちは一  
昨年完成した新校舎を有効活  
用し、日々の授業、学校行事、  
部活動などに一生懸命に取り組  
んでおります。部活動では、運  
動部だけではなく文化部でも東  
北大や全国大会への出場を果  
たしております。

平成二十四年度に文部科学省  
から指定された「スーパーサイ  
エンスハイスクール（SSH）」  
も四年目となりました。今年度  
も、県内外の大学や研究施設と  
の連携による科学講演会や校外  
研修、タイのプリンセス・チュ

てるなんて、誰も気づいてないよ  
と笑ったのを覚えています。

と笑ったのを覚えています。新  
婚生活と子育てと女子高勤務  
が、いっぺんにスタートしました。  
女子だけでしたので、授業中の  
雑談や具体例には気を遣いまし  
た。男子だけのときは、説明に  
困つたら、あちら方面のネタに振  
れば簡単だったのですが、古女で  
はそうはいきません。幼い息子や  
宮崎アニメには何度も助けてもら  
いました。

学校行事はどれも思い出深い  
です。馬鹿なことにも全力で打ち込  
む古女生の姿はとも美しいと感  
じました。文化祭では、汗だくに  
なつてお化け屋敷をしました。体  
育祭では、バック絵と応援合戦に  
圧倒されました。バック絵は、たま  
に担任が描かれたりしますが、一  
度、副担任の佐藤武先生、横山  
茂先生と一緒に、ボディーパー  
ダールのようなマツチョンな裸体に描

ラボーンズ・カレッジ・サトラウ  
ン校との海外交流、高校一年  
での防災地域科学課題研究、  
高校二年での課題研究等を実  
施して参ります。残された二  
年間でこれまでの実践研究を  
改善し、発展させ、一年後、  
再度SSHの指定を受けるこ  
とを目標に学校全体で取り組  
んでおります。

今後とも、同窓生の皆様が  
これまでに積み重ねてきた長  
い歴史と伝統を継承し、加え  
て中高一貫教育校としての歴  
史を創造して参ります。  
最後になりましたが、同窓生  
の皆様には、これからも変わ  
らぬご支援とご協力を賜りま  
すようお願い申し上げます。  
ご挨拶いたします。

かれたのには参りました。  
それにしても、教員と生徒の  
距離が近い学校だったなとつく  
づく思います。体育祭の閉会  
式の壇上で、佐々木直美実行  
委員長が、当時の鈴木陸男校  
長に抱きついて「むつちゃん、大  
好き」と叫んだこともありま  
した。そうしたことが許される  
鷹揚で自由闊達な空気が学校  
に流れていました。

卒業生を二回出しました。  
今でも、何人かと時々会って  
います。結婚して、子育ての苦労  
や喜びを語る教え子たちを見  
ていると、古女時代の自分の  
日々と重なり、感慨深いもの  
があります。  
古女の卒業生は、きつと、今  
でも、それぞれの場所で、それ  
ぞれに一生懸命生きています。  
祈ります。皆さんの幸福をお  
祈りします。



# 黎明の進路

進路指導部長 玉田賢司

古川黎明中学校・高等学校になつて十一年目、宮城の教育界に黎明の卒業生が加わりました。小学校、中学校、高等学校それぞれの教壇に黎明出身の教員が立つようになつたのです。教え子たちが教員として同僚となることは、教員を長くつとめる者としてこの上ない幸せです。まさに教師冥利に尽きます。未来を担う子供たちを育てるため、ともに頑張りたいと思います。

私は真の「進路実績」とは、国立大学に何人の合格者を出したかなどという些末なものではなく、社会で活躍する同窓生をどれだけ数多く輩出できているかだと考えます。古川女子高の同窓生には、まさしく社会で活躍される方々が数多くいらつしやいます。そうした方々に古川黎明の生徒たちが助けられることも度々です。良き伝統の継承を古川黎明の同窓生たちにも望みます。

今春、四年ぶりに東大合格者が本校から出ました。彼は将来、政治家になりたいと言っていました。

昨今の政治情勢を鑑みると、正直手放しでは喜ばませんが、それでも日本の未来の舵取り役を担いたいという志には大いに期待したいところです。

## 〈今春の主な進路先〉

### ○国立大

室蘭工大、弘前大、岩手大、宮城教育大、東北大、秋田大、山形大、福島大、筑波大、宇都宮大、千葉大、東京学芸大、東京大、新潟大、宮城大、秋田県立大、会津大、高崎経大、都留文科大

### ○私立大

宮城学院女子大、尚綱学院大、石巻専修大、仙台大、仙台白百合女大、東北学院大、東北工大、東北生活文化大、東北福祉大、東北文化学園大、東北薬大、東北芸術工大、つくば国際大、流通経済大、国際医療福祉大、白鷗大、共愛前橋国際大、上武大、文教大、淑徳大、神田外語大、千葉工大、千葉商大、国学院大、国士舘大、桜美林大、芝浦工大、昭和女子大、専修大、早稲田大、大東文化大、東海大、東京薬大、東洋大、日本女子大、日本大、日本文

化大、明治学院大、和光大、鎌倉女子大、関東学院大、神奈川大、東洋英和女学大、新潟医療福祉大

### ○看護専門学校

八戸看護専門、水沢学苑看護専門、石巻赤十字看護専門、国立病院機構仙台医療センター附属看護助産、獨協医科大学附属看護専門、旭中央病院附属看護専門、亀田医療技術専門、JR東京総合病院高等看護、八王子市立看護専門

### 〔公務員・民間就職〕

宮城県警、大崎市職員、色麻町職員、YKKAP株式会社東北事業所、ラサ工業株式会社三本木工場、特別養護老人ホームまほろばの里たいわ



平成27年4月1日現在

## 過去3年間の進路状況

		進 学													就 職			受 験 準 備	そ の 他	計		
		大 学		短 大		専 修 各 種 学 校									大 学 校	海 外 進 学	公 務 員				民 間 ( 県 内 )	民 間 ( 県 外 )
		国 立	公 立	私 立	公 立	私 立	工 業 系	医 療 系	衛 生 系	教 育 ・ 福 祉 系	商 業 実 務 系	服 飾 ・ 家 政 系	文 化 ・ 教 養 系	そ の 他								
2014	普通科	27	9	134	0	7	2	16	4	1	3	0	6	0	3	4	*5	4	0	10	0	
	計	170		8		32											9				235	
2013	普通科	23	5	151	0	8	0	11	5	0	3	0	6	0	2	3	4	5	0	13	2	
	計	179		8		25											9				241	
2012	普通科	15	9	140	1	11	1	18	6	1	5	1	3	0	1	0	8	1	0	17	0	
	計	164		12		36											9				238	

\*2014公務員に防衛大学校1含む



# 支部だより

## 古川支部

平成二十六年七月六日の総会をもって新年度の活動を開始した古川支部です。総会の参加者は三十五名でした。いつまでも総会でお会いしましょうと約束した方々の中に、御病氣や他の理由でもうお会いできない方もおられたのは淋しいことでした。でも役員も会員も皆で楽しい友情の時を持ちました。秋には研修旅行をしました。晴天の下、山形県庁見学や河原の本場いも煮会は本当に嬉しい限りでした。

支部長 庄司 美和子

## 高清水支部

本支部は、平成四年に発足し第十九回目になります。今回は移動総会として、新校舎見学を計画致しました。

正面玄関にて、庄子校長先生、小林先生のお出迎えを受け参加会員は感激しております。

又千葉会長様、三浦副会長様にお出でいただき、総会も無事に終えることが出来、引き続き素晴らしい新校舎をご案内していただくことになりました。ご案内は庄子校長とのことで、これ又楽しい時間です。すみずみまでのご説明で、隙間風が入る校舎で学んだ私達にとっては、何倍もの得るものを感じとれた一時でした。ありがとうございました。

今後は卒業生の在町者も少ない高清水支部ですが、一人でも多く参加出来る活動を前向きに考えたいと思っておりますので、ご支援よろしくお願い致します。

最後に各支部も大いに活動されていることに敬意を表し、百周年に向け母校の益々の発展と、ご健康を心よりお祈り致します。

支部長 鎌田美代子

## 関東支部

関東支部の活動は、新春の旧古川市内四校関東同窓会から始まりです。今年は古高さんの担当でコンサートが催されました。出演者はピアノ（黎明）ヴァイオリン・フルート、サクソフォン・声楽（以上古高）の皆さんで息の合った見事な演奏は会場の二百余名の心を満たし感動に包まれました。県立高普通科卒でこれだけ揃っているのは希有な事と思われまます。しかも皆さん一流の演奏家として活躍中です。加えて声楽家を目指す音大生（古高）の歌もあり、将来が楽しみです。



関東支部  
同窓会は五月末新装の光り輝く会場で催しました。本支部千葉会長様をはじめご来賓の皆様は郷里

や躍進する本校のお話にて、女学生となつて聞き入りました。続いて六回生の伊藤恵子さんによる語り、山本周五郎作「不断草」で大変心にしみました。嬉しい事に今年も三名の大学生の参加で「高女・古女・黎明」が揃い、校歌を斉唱しました。若人に引き継ぐ責任を強く感じました。

支部長 萩原節子

## 田尻支部

移動総会と秋の講演会  
二十六年度は、パレット大崎での移動総会で、母校の後輩たちのコーラスを聴きました。合唱コンクール等でも上位入賞しているすばらしい歌でした。私達も若返って幸せな雰囲気を楽しみました。大崎市のバスをお借りし、約三十名が参加しました。

秋の研修会は、地元田尻の術たじりエコベンタブル代表の佐々木陽悦氏を講師にお招きして「食と農のあるべき姿を求めて」という題で講演して頂きました。約五十名の参加で、地域の方も来てくださいました。毎日の生活に欠くことのできない食物、そしてそれは種々の産業と関係しながら生み出されていくというお話でした。その後、花の寄せ植えや庭のコーディネートについて、実施をまじえて勉強をしました。

私達は年二回講演と芸術面での研修とを交互に計画し、母校の話をし発展を願いながら自らも研修を重ねて会員全員ががんばっています。

支部長 佐藤紀久子

## フロボクサー 藤岡奈穂子さん(H6卒)を応援

平成二十七年三月メキシコにて勝利 WBC 女子インターナショナルスーパーフライ級王座獲得！  
平成二十六年度白梅会総会にて、皆様からカンパをいただきました。  
金額 一万七千七百十五円  
ありがとうございました。

## 同窓会各支部の事業報告(H26年度)

- 5月25日(日) 関東支部総会
  - 6月21日(土) 塩釜支部懇親会
  - 7月6日(日) 古川支部総会
  - 7月21日(月) 田尻支部総会
  - 8月3日(日) 同窓会本部総会
  - 10月19日(日) 高清水支部総会
  - 11月3日(月) 三本木支部交流会
  - 11月20日(木) 仙台支部懇親会
- 品川プリンスホテル  
レストラン シェヌー  
グランド平成  
パレットおおさき  
グランド平成  
本校 大会議室  
柏屋会館  
和食 波奈 定禅寺通り店

## 謹んでお悔やみ申し上げます。

同窓生 加藤 佐々木満子 様 S12年卒  
同窓生 伊藤 岡本あゆみ 様 S54年卒  
旧職員 菅野 房様 S22年〜S58年勤務  
H26年8月25日逝去  
旧職員 古川 清志 様 S40年〜H4年勤務  
同窓生等がご逝去された際には、弔電をお送りいたしますので、同窓会までお知らせください。



# 同窓生は今

## これからも夢に向かって



平成8年卒  
横地(北川)貴子

同窓生の皆様お元気でしょうか？早いもので古女を卒業してから二十年が経ちます。思い出すのは楽しかったことばかり。毎日学校に行くのが楽しくてしかたなかったあの頃を懐かしく思います。

私は古女を卒業後、東北工業大学工業意匠学科に進学。その後、同大学の大学院へ進み、修士課程修了後、株式会社伝統建築研究所という仙台市内の設計事務所に入社。実務経験を積み一級建築士の資格を取得し、現在に至ります。

小学生の頃から設計士になる夢があり、進路に悩むことはなかったものの、高校生活は楽しい仲間にも恵まれすぎて、遊びが主の毎日。第一志望の学科への進学は叶いませんでした。

しかし、これが真剣に建築を学ぶきっかけ、そして今の仕事に繋がるきっかけになりました。大学入学当時は、建築雑誌に載るような流行りの新しい建物に憧れていた私でしたが、研究室で古民家調査に参加していく中で、興味の対象や考え方が変わっていききました。大学四年の時、大正十三年に建てられた当時の皇族専用のスキーロッジを米沢から仙台に移築するというプロジェクトに携わる機会に恵まれ、大学院の二年間は解体現場に通って記録をとったり、実測図をかいたり、貴重な経験をさせてもらいま

した。その経験を活かしつつ、現在は、お寺や神社の設計、それに付属する会館や住職さんの住まいの設計、また、歴史的建造物の調査、復元等に携わっています。

古い建物の復元では、間取り、構造、柱に残る痕跡(増改築の跡)などあらゆる情報を実測調査し、文献や地域の傾向から、復元する時代の間取りや仕様を推定し設計を進めます。その時代その時代で暮らし方に合わせて増改築を繰り返してきた昔の人の生活の知恵や職人さんの技術に触れることができ、驚いたり感動したり。悩むことも多いですが得るものも多い仕事です。

また、新しい建物の設計の際はイメージを共有するために模型を作ったり、スケッチをかいいたり、お客さんと一緒に京都に建物を見に行ったりともありました。何度も打ち合わせを繰り返して、悩んでは直し、完成までにはいくつもの壁がありますが、それだけに建物が出来上がった時の感慨はひとしお。お客さんと職人さんとみんなで一緒に作り上げた喜びを感じる瞬間、やりがいを感じます。

古女を卒業してからやりたいことに向かつて突っ走ってきた二十二年間、様々な経験と出会いが自分を成長させてくれました。その全てに感謝の気持ちでいっぱいです。

今後の夢は、家族と一緒に『未完成の家』を作ること。住みながら暮らし方に合わせて手を加え、住み継いできた歴史的な建物に学び、できた時が完成ではなく、ライフスタイルに合わせて手を加えていく。そんな家づくりの楽しさを体験しながら子供に伝えていきたいです。

## 中国語で恩返しを



平成8年卒  
坂東(佐々木)由美子

平成八年卒の私、高校を卒業して二十年になることを、同窓会の幹事をする友人からこの執筆の機会をいただき気づきました。もう二十年！年を取ったわけだー！(笑)恐縮ですが、古女時代を懐かしみながら、この場をお借りして少し綴らせていただきますね。

学校の敷地の隅っこに立っていた弓道場。私は弓道部に所属し、放課後は部活と称した？仲間との楽しい時間を過ごしました。今でも弓道部の友人との交流は続き、とてもありがたく思っています。実は私は現在、夫の仕事の関係で中国・蘇州で暮らしています。一時帰国のたびに仲間会に会い、美味しい料理とお酒をいただきます。時間がいくらあっても足りないくらい話は尽きません。楽しい思い出ばかりくれた友人たちに出会えたこと、本当に感謝しています。不真面目で劣等生の私でしたが、弓道への思いは胸の中にあり続け、就職してから再開しました。不完全燃焼だった高校時代を反省するかのよう、仕事が終わるとまっすぐ道場へ直行し稽古、週末は試合。そんな日々を過ごしていました。

仕事は、医療ソーシャルワーカーとして十年働きました。仕事、家庭、弓道とどうにかバランスをとりながらやっていた時、突然主人の転勤命令。当時まだ二歳の子供を連れ、蘇州へやってきました。まさか自分が中国で暮らすことになるとは夢にも思っていませんでしたが、今は

この暮らしに馴染んでいます。来た当初は生活習慣になじめず、なかなか受け入れがたい文化の違いもありました。しかし、生きていくしかない。それにはまづ言葉だ！と、蘇州大学の留学生となり中国語を勉強し始めました。大学は刺激的な毎日、語学以上に得たものも大きかったと思います。お互いの会話もあやしげな初級クラスの時、サウジアラビア人のクラスメイトの家に、私は子連れで遊びに行きました。今では中国以外の外国の友人もでき、楽しんで生活しています。

せつかく蘇州に慣れてきたところで、その後髪引かれる思いはありますが、もう間もなく、主人の転勤で大連へ移動となります。中国二都市で暮らせる経験も悪くないだろうと、前向きに頑張ろうと思っています。

中国人は日本人のことをどう思っているのだろうか？蘇州に来て一年くらい、そんなことを思い続けていました。過去にあった事実を心の中に受け止めつつも、今は人と人として付き合い、お互い協力し合える良い関係になれることを切に願っています。

二〇二〇年東京オリンピックの年、おそらく私は日本に帰国していると思います。道案内のボランティアができるくらいには中国語を勉強して、私をここで助けてくれた中国の皆さんに恩返ししたいと思っています。

### 編集後記

お忙しい中、原稿をお寄せいただきありがとうございました。皆様方にご協力いただき、御礼申し上げます。多くの方々との深い絆を再確認することができました。ありがとうございました。同窓生の皆様のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

三浦 明子 加川 康子  
住子 菜穂子